



### ミッション

この法人は子どもの基本的人権が保障された社会基盤の整備を目的とする。また子どもの主体を尊重し、子どもの力を信じた支援を行い、子ども達が全人的な育ちが出来るよう社会参画の機会の拡充を図る。

### 事業

- \*子どもの諸活動に関する支援
- \*子どもと文化に関する活動及び交流
- \*文化事業の企画及び協力・提供
- \*子どもに関する出版及び広報・調査
- \*各分野NPOなどとの連携・ネットワークづくり

### 事業内容

- 子ども支援事業
- 学童保育事業 「みはまっこ学童クラブ」
- チャイルドライン事業
- 子育て読書推進活動事業「おはなしふぁん<sup>2</sup>」
- 子育て支援事業
- 保育サポート事業「キッズルームコアラ」
- ブックスタート推進事業
- 地域間・世代間交流事業「紀州舞踊隊」
- 社会的養護活動の支援啓発
- 広報啓発事業
- ネットワーク事業



### ファンド活動

チャイルドライン及び地域の子育て支援活動のためファンド活動を行っています。2017年度は映画会の開催・チョコレート・手作りお菓子の販売、お米、野菜の販売・バザー参加などを行いました。

2018年度は映画会の開催・チョコレート・野菜・お米の販売を行う予定です。事務所では常時チョコレートの販売・お米の販売を行っています。ぜひご利用ください。

### ～チャリティ映画会～

- 2010. 11. 27 あしかび
- 2013. 2. 16 隣の人
- 2014. 2. 16 Happy
- 2014. 11. 30 こどもこそミライ
- 2016. 1. 24 うまれるずっといっしょ
- 2017. 1. 29 さとにきたらええやん
- 2018. 3. 11 夜間もやってる保育園



※広報の発行は年に1回を予定しています

### 会員募集中！！

☆子どもステーションくまのの活動をご支援下さい

- 正会員・・・年会費 1口6,000円
- 賛助会員・・・年会費 個人1口5000円 団体1口10,000円
- 支援会員・・・年会費 個人1口2000円 団体1口5,000円

☆チャイルドラインの支援会員もよろしくお願ひします。

- 支援会員・・・年会費1口3,000円 団体支援会員・・・年会費1口10,000円

NPO法人

# 子どもステーションくまの広報

2018年

NPO 法人子どもステーションくまの  
熊野市久生屋町163-2  
tel: 0597-89-5633  
fax: 0597-89-5643  
Email: kinan@zb.ztv.ne.jp

## 2018年度から事業内容が変わります

「NPO法人子どもステーションくまの」が発足して12年、紀南おやこ劇場時代より引き続いて乳幼児親子の広場こぐまや保育サポートキッズルームコアラ、チャイルドラインの実施参画、学童保育等、子どもを権利の主体とした子どもの育ちに責任を持つ地域社会を地域の人と一緒に作りあって行くという思いで数々の子育て支援・子ども支援事業を実施してきました。保育サポートに於いては2011年に熊野市よりファミリー・サポート・センター事業を受託し、2015年には学童保育事業が独立して黒瀧一輝理事長のもと「NPO法人あそぼらいつ」が設立されました。また2016年には熊野市子育て支援センター事業を受託するに至り、それに伴い長年続けてきた乳幼児親子の広場こぐまを閉じることにしました。

今年で8年目になるファミリー・サポート・センターは待ちに待った事業受託であり、実施に於いては予想を上回る需要の広がりがあります。今では熊野市の子育て支援にとってなくてはならない事業であり、多くの親子が地域のサポーターの助けを借りることができています。そして3年目となる子育て支援センターに於いては3人のスタッフが、子育てに不安なお母さんたちがいつでも安心して孤立することなく集える居場所となるよう、心を砕いて地域の親子に寄り添ってくれています。また学童保育事業担当の黒瀧一輝専務理事が、学童保育事業を独立させて「NPO法人あそぼらいつ」を立ち上げたことで、農場などその事業形態は著しく拡大していきました。昨年10月からは「NPO法人あそぼらいつ」が熊野市より家庭的保育室こぐまを受託し、「NPO法人子どもステーションくまの」にて互いに協力体制の基、0・1・2歳児の保育事業を実施し、愛着形成を大切に子どもと保護者に密着した保育を行っています。

この12年間、数々の子ども支援活動の枠を広げ内容を深めて参りました。そして地域の子どもの輝ける未来を願って、私たちには今後更なる変化が必要であると判断致しました。ここに2017年度を持って「NPO法人子どもステーションくまの」は、熊野市からの乳幼児子育て支援の受託事業を全て「NPO法人あそぼらいつ」に移管し、2018年度からはチャイルドラインの実施参画と絵本の読み聞かせ活動「おはなしふぁん<sup>2</sup>」、地域間・世代間交流「紀州舞踊隊」の3活動を中心に実施してまいります。そして「子どもステーションくまの」の理事長:田岡陽子は2017年度を持って引退し、2018年度よりは黒瀧一輝が新任し、あそぼらいつの理事長と兼任していくことになりました。これまで長きに渡って役割を担って来られたのも、ひとえに皆様のご支援があったることと痛感しております。深く感謝申し上げます。

今後も「NPO法人あそぼらいつ」、「NPO法人子どもステーションくまの」共に協力体制の基、地域の子ども支援活動の充実した広がりに向けて、皆さんと一緒に取り組んで参りたいと思ひます

田岡



これからもご支援よろしくお願ひします

## ○チャイルドライン事業

チャイルドラインは、指示しない・指導しない・傾聴することで子どもがエンパワメントすることを支援する電話です。子どもの心を受け止める 18 歳までの子ども専用電話です。オンライン相談の試行も始まりました。

**子どもが安全に安心して  
健やかに育つ社会づくりを  
目指します**

月曜～日曜 PM4:00～9:00  
フリーダイヤル

**0120-99-7777**

実施拠点は三重県内に 8 箇所あります

NPO 法人チャイルドラインM I E ネットワークは認定 NPO 法人格を取得しました。支援会員の会費はチャイルドラインを支えて頂く寄付にあたります。個人が認定NPO法人に寄附をすると、所得税の計算において所得控除、又は税額控除のいずれかを選択して確定申告を行うことにより、所得税の控除を受けることができます。

事務所にて 2017 年度年次報告書を販売しています。 1 冊 600 円



### 数字から見た チャイルドライン MIE

2017 年 4 月から 2018 年 4 月までの三重県発信の電話は 924 件でした。

2016 年度は 3569 件、2015 年度は 5112 件でした。年度別着信件数を見ると全国的にも年々減る傾向にありますが、三重県に於いては 2017 年度、激減しています。要因ははっきりわかりませんが、普段の生活で子どもたちが友だちなどと連絡を取る際に電話ではなく SNS の LINE などを活用することが増えたことと子どもたちの状況の変化から誰かに相談する力が弱くなったことが関係しているようにも思われます・・・年次報告より

### ～子育て支援者養成講座～

あなたも講習会に参加して、受け手ボランティアをしてみませんか。また、子ども支援に関わる方にもおすすめの講座です。子どもの権利を保障し、子どもが豊かに育つ地域づくりに興味のある方は、ぜひご参加下さい。  
会場：三重県津庁舎 他 要申込み 子どもステーションまの迄

- 6月23日 ・チャイルドラインとは  
・子どもにはチカラがある
- 6月24日 ・子どもたちに性の問題を正しく伝えるために  
・「私」を引き受ける
- 6月30日 ・コミュニケーションの体験  
・子ども時代に立ち返るワークショップ
- 7月 7日 ・依存症からの回復とエンパワメント  
・いじめと不登校
- 7月 8日 ・子ども虐待  
・思春期外来の現場から
- 7月14日 ・子ども支援のまちを創ろう  
・子どもとメディア

## 社会的養護の社会化 フォーラム

～つながってみんなで育てたりええんやに～

フォーラム in 東紀州  
熊野市民会館に 800 名来場  
たくさんの方が社会的養護を考えるきっかけになりました。



## ○社会的養護活動の支援・啓発

昨年は「社会的養護」の理解者を増やし、支援の輪を広げ考え合う事を目的に、県内の行政、地域団体、NPOで実行委員会を結成し3月17日「社会的養護の社会化フォーラム」を開催しました。私たちは熊野市で「社会的養護の社会化フォーラム in 東紀州」を7月9日に開催。子どもたちによる「三重県子ども条例」朗読に始まり第二部では尾木ママの講演会を行いました。このフォーラムではこの地域5市町の行政の方、ロータリークラブ・ライオンズクラブ・青年会議所・社協、里親会・幼稚園・子育てサークルの方で実行委員会を立ち上げ、この地域の子どもたちについて考え合いました。これをきっかけに。すべての子どもたちに目を向けられる地域づくりを目指したいと思えます。

熊野市平成 30 年度里親説明会  
平成 31 年 1 月 27 日（日）熊野市文化交流センター  
里親について、まずは制度を知るところからはじめませんか！

## ○おはなしふぁん<sup>2</sup>

子どもたちの想像力を養い絵本の楽しみを伝えることを目的として、月に 1 度金山保育所・年に 1 度子育て支援センターで読み聞かせ活動を行っています。

昨年度金山保育所では 9 回読み聞かせを行いました。毎回年齢に応じた絵本を三冊ほど選びスタッフが 1 人から 2 人で各クラスを回りました。読んだ本を紹介したふぁん<sup>2</sup>mail を発行し保育所で掲示してもらっています。

2 月には全園児を対象にしたパネルシアターや大型絵本などを交えたお話し会形式で行いました。支援センターでは 3 月に 30 分ほどのプログラムでお話し会を行いました。

保育所では昨年度は訪問回数を増やすことができその為 3 才児でも長めのお話しも集中して聴くことができるようになりました。毎月 15 冊の選書、練習は大変ですが、子どもたちを見ているとお話を届ける喜びを感じることができる意義深い活動だと思わされます。

2018 年度金山保育所読み聞かせ  
5 月 14 日(月)  
6 月 4 日(月)  
7 月 9 日(月) 8 月から月 1 回予定

2018年2月5日 金山保育所お話し会



## ○ブックスタート支援事業

ブックスタートとは乳幼児と保護者が絵本を介してゆっくり心触れ合う時を持つきっかけをつくる事業です。熊野市でのブックスタートは 4 カ月の乳児健診時に行われており、会場でのスタッフとして活動しています。

## ○みはまっ子学童クラブ

学童保育事業のみはまっ子学童クラブは、NPO 法人子どもステーションが指定管理者を受託しています。小学生の放課後の安全で安心した生活の場の保障、働く親の子育て支援として、スタッフ一同日々頑張っています！野外体験活動はもちろん、農場を利用した体験活動や動物との触れ合いなどの活動を行い、子どもたちが本来の力を発揮できるようにサポートしています。

## ○紀州舞踊隊 ソーラン

地域間交流・世代間交流を目的に活動しているソーラングループです。地域の小さなイベントも大切にしながら大きなイベントに向かって頑張っている練習していきたくです。

練習日：毎週月曜日  
時間：子ども 19:30～20:30  
大人 19:30～21:30

場所：井戸小学校体育館

現在幼児 2 名・小学生 6 名・中高生 3 名大人 13 名と 4 歳から 65 歳までの幅広い年齢層が一緒になって活動しています。興味のある方は是非見学に来て下さい！

・・・イベント参加・・・  
昨年は年間 14 件のイベントに参加しました。参加延べ人数は 242 人  
2018 年度参加イベント。  
4 月 22 日(日)エンジョイダンス  
5 月 20 日(日)南紀海彩まつり  
5 月 27 日(日) オール熊野フェスタ  
7 月は育生若鮎まつり・新田稲荷神社夏祭など夏祭のイベントに参加します。8 月からも昨年と同等のイベントに参加予定です。

2018年4月22日 エンジョイダンス 於 まなびの郡



## ○保育サポート事業

「キッズルームコアラ」  
集団託児や熊野市以外の子ども一時預かりを行っています。昨年は送迎を中心に 23 件の依頼がありました。今年度は集団託児を中心とした活動になります。

